

CoCo バス再編に伴う運賃及び割引制度について

1 検討方針

これまで CoCo バスは 100 円の運賃で運行を行っていましたが、路線バスとの運賃格差とそれに伴う路線バスの利用者減少の助長、地域間での不平等が課題となっていました。

そのため、利用者、市、運行事業者の 3 者が、それぞれ過度な負担なく公共交通を支えることを目標として、交通弱者への配慮や路線バスとの競合緩和を考慮した運賃水準や体系について、基本方針に基づき検討を行いました。

<運賃検討の方向性>

- 運賃体系は現行路線と同様の 均一制
- 基本運賃額は 路線バスの初乗り運賃（180 円）と同程度
- 小児運賃や IC 運賃の設定を検討
- 路線バスや他自治体事例を参考に、交通弱者への配慮や財政負担等を考慮するとともに、導入に伴う課題等を踏まえ、割引制度の導入を検討

<再編の基本方針>

- ①公共交通が不便な地域における交通弱者への対応
- ②路線バスを補完するサービスの提供
- ③日常生活に即した運行サービスの提供
- ④持続可能な運行形態・サービスの提供

2 運賃割引制度の内容

他自治体の事例収集整理の結果を参考としながら、小金井市内を運行する路線バスでの料金設定等をもとに、地域公共交通会議にて議論を行い以下のとおり案を整理しています。

		運賃・割引制度	支払方法
基本運賃		大人：180円 小児：90円	現金、IC
一般 割引	回数券	90円券35枚綴り(3,150円)を、 3,000円で販売(割引率4.7%) ※大人の場合171円(2枚使用) ※現回数券の割引率と同率 ※車外販売のみ	回数券
	障害者割引 児童福祉法適用者割引	90円(小児50円) ※対象は事業者制度に準拠	現金、IC
	1日乗車券	500円(大人・小児用共通) ※車内販売	現金のみ
特殊 割引	未就学児割引	未就学児無料(人数制限なし)	—
	高齢者割引 (65歳以上)	65歳以上の場合100円 介護保険被保険者証を提示 ※2号被保険者を含む 【割引の受け方は二種類】 ①車内で介護保険被保険者証を提示し、現金またはICで支払い ②高齢者専用回数券を使用 車外で介護保険被保険者証提示により購入 (100円×10枚を1,000円で販売)	現金、IC、 高齢者専用回数券

※1: 高齢者割引を除くIC運賃については路線バスの設定に準拠してIC運賃を設定する。

【介護保険被保険者証とは】

第1号被保険者（65歳以上の方）には、65歳の誕生月に市の介護福祉課から郵送により届けられます。また、第2号被保険者（40歳から64歳の方）には、介護保険の認定を受けた方に交付されます。

(一)		(二)		(三)		
介護保険被保険者証		要介護状態区分等		給付制限	内容	期
被 保 険 者	番号	認定年月日 (事業対象者の場合は、基本チェックリスト実施日)			開始年月日	年
	住所	認定の有効期間		終了年月日	年	月
	フリガナ	区分支給限度基準額		開始年月日	年	月
	氏名	居宅サービス等 1月当たり		終了年月日	年	月
	生年月日	（うち種類支給限度基準額）	サービスの種類	開始年月日	年	月
	性別		種類支給限度基準額	終了年月日	年	月
交付年月日		認定審査会の意見及びサービスの指定		開始年月日	年	月
保険者番号並びに保険者の名称及び印	1 3 2 1 0 小金井市 小金井市本町六丁目			種類	入所等年月日	年 月 日
				名称	退所等年月日	年 月 日
				種類	入所等年月日	年 月 日
				名称	退所等年月日	年 月 日

図 介護保険被保険者証見本（全体図）

(一)		
介護保険被保険者証		
被 保 険 者	番号	
	住所	
	フリガナ	
	氏名	
	生年月日	性別
交付年月日		
保険者番号並びに保険者の名称及び印	1 3 2 1 0 小金井市 小金井市本町六丁目	

図 介護保険被保険者証見本（三つ折り時の実寸）

3 割引制度に関するこれまでの検討内容

割引制度に関するこれまでの主な検討経過と検討結果を以下に示します。

今回導入する運賃・割引制度は黄色の箇所です。その他割引の導入については再編後、必要に応じ検討します。

		検討の目的と課題		地域公共交通会議及び事業者からの意見	基本運賃案・割引制度案	
運賃	基本運賃	目的	路線バスとの公平性、適切な受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスとの公平性から180円を支持すべきである ・小銭発生により運転士の收受時の負担は増加する ・小児運賃の割引額が他の割引制度と違いわかりにくい 	180円（小児90円）	
		課題	利用者負担の増加、小銭発生		理由	路線バスとの公正性、コミバス収支率の維持のため、路線バスと同等の運賃とする
	IC運賃	目的	利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・CoCoバス・ミニとのサービス格差を懸念 	IC運賃の導入（178円（小児89円））	
		課題	CoCoバス・ミニでは非対応		理由	利用者の利便性向上、路線バスとの公平性のため導入
割引制度	回数券	目的	高頻度利用者への割引	<ul style="list-style-type: none"> ・現行と同等の販売金額（2,000円）が望ましい ・現行回数券との移行時の対応方法の調整が必要 	171円4.7%割引（小児：86円）	
		課題	回数券の管理・販売による負担増加		理由	高頻度利用者への割引制度（定期券、学生割引の代替）
	定期券	目的	高頻度利用者への割引	・特になし	導入見送り	
		理由	他市の導入率が低い高頻度利用者への割引制度は回数券で対応			
	障害者・児童福祉法適用者割引	目的	交通弱者への配慮、路線バスとの公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・100円、50円単位での運用が望ましい ・路線バスと同等の扱いが望ましい 	90円（小児50円）	
		課題	運転士による確認負担の増加		理由	交通弱者への配慮、路線バスとの公平性（京王バス基準に準じる）
バス特	目的	ICカード利用の促進、路線バスとの公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市内を運行する路線バス事業者では令和3年度にバス特サービスを終了済み。 	導入見送り		
	課題	CoCoバス・ミニでは非対応		理由	路線バスでのサービスが終了しており導入しない	
学生割引	目的	高頻度利用者への割引（学生を追加で割引）	・特になし	導入見送り		
	理由	他市の導入率が低い学生の高頻度利用者への割引制度は回数券で対応				

		検討の目的と課題		地域公共交通会議及び事業者からの意見	基本運賃案・割引制度案	
割引制度	乗継割引	目的	乗継負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・発券、確認作業に伴う運転士負担増加を懸念 ・需要が少ないと予想される 	導入見送り	
		課題	発券等による運転士への負担の増加		理由	需要に対する運転士負担の増加、乗継利用者への割引制度は1日乗車券で対応可能
	1日乗車券	目的	乗継負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスで紙券はすでに廃止 ・金券管理方法について調整が必要 	1日乗車券 500円 (スクラッチ式)	
		課題	紙券の場合は運行事業者と調整が必要		理由	乗継利用時の割引制度としての有効性を考慮
	未就学児割引	目的	交通弱者への配慮、子育て世代への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスと同等の扱いが望ましい (大人1人につき2名まで) 	未就学児無料 (人数制限なし)	
		課題	運転士による確認負担の増加		理由	交通弱者への配慮、子育て世代への支援
	シルバーパス	目的	路線バスと同等の割引	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者が4割以上となり、財政負担の増大 (大幅な減収) について懸念 ※シルバーパスをコミバスで適用する場合、東京都補助がなく小金井市で負担する必要がある 	導入見送り	
		課題	大幅な財政負担の増加		理由	運賃全額の割引は財政負担が過大、高齢者への割引制度は高齢者割引で対応
	高齢者割引	目的	高齢者の移動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回年齢確認を行わない形が望ましい ・専用パスは発行事務の負担、個人情報等の管理等に懸念 ・年齢確認による運転士負担増、運行遅延の懸念 ・財政負担の増大を懸念 ・対象年齢はシルバーパスと同等の扱いが望ましい 	介護保険被保険者証提示者を対象に100円	
		課題	財政負担の増加、運転士による確認負担の大幅な増加		理由	高齢者の移動支援のためシルバーパスの代替として導入 新たな専用パス発券による負担の増加、運転士の確認負担を抑える